

3.11 津波犠牲者、テイラーアンダーソンさんを偲ぶ ～第8回 風の環コンサート～

今年で8回目を迎える風の環コンサートは、9月11日（金）7:00pmより2 West 64丁目のEthical Culture Center Concert Hallで開かれる（開場は6:30pm）。チケットは20ドル。

今年は4年前の東日本大震災で犠牲になったヴァージニア州出身のテイラーアンダーソンへの追悼の意味を込めるコンサートにする予定だ。テイラーさんはJETプログラムにより2010年に日本に派遣され宮城県の石巻や東松島で小学生や中学生に英語を教えていた。彼女は友人たちに「私は日本とアメリカの懸け橋になりたい」と言って赴任したという。しかし、震災当日テイラーさんは子供たちを避難場所に誘導した後、家に戻る途中で津波にさらわれアメリカ人として最初の犠牲者となった。

今回コンサートで演奏するのは、テイラーさんを知る地元の人たちで結成された「ぜっていまげねえテイラー合唱団」。このテイラーさんの教え子たちを含む約50人からなる合唱団は既に東京などでオリジナルのミュージカル「100通りのありがとう」を公演してきたが、今回はニューヨークの舞台で復興に多大な援助の手を差し伸べてくれたアメリカの「ともだち」に感謝の気持ちを込めて演奏する。またテイラーさんの教え子の一人がテイラーさんへの感謝の気持ちを込めた手紙をステージの上で読み上げる予定だ。

また、スペインのコリア・デル・リオ市からは「サムライの末裔」と言われるハポンさんたちを招待する。1600年、仙台市を築いた奥州の雄と言われた伊達政宗が派遣した慶長遣欧使節の中で何人かが帰国せずにスペインに残ったとされているが、その子孫と言われる人たちだ。慶長遣欧使節は政宗が建造した「サンファン・パウティスタ号」という大型船（日本最初の西洋型軍艦で“伊達の黒船”と呼ばれている）で1613年に石巻の月浦から出帆して丁度1年後にコリア・デル・リオに到着した。ハポンさん達は震災後に遠い故郷である石巻の惨状を悼みその復興を祈る俳句を石巻市に寄贈している（色紙に認めた俳句は、丙NPOが2013年に主催してハポンさんたちを石巻に招待して開催した“俳句と合唱で結ぶ日西文化交流コンサート”においてコリア市の図書館長から石巻市長に直接手渡され、現在サンファン・パウティスタ館に展示されている）。今回、400年の時空を超えて石巻に想いを寄せる人たちがニューヨークで集うことになる。ハポンさんたちはコンサートでテイラーさんを想う俳句を披露することになっている。

一方、9.11でご子息を亡くしたご遺族の住山一貞さんは今回のコンサートのために混声合唱曲「折鶴の旅」を作詞・作曲された。これをコンサートのホスト役であるJapan Choral Harmony「とも」が演奏する。さらに、このコンサートではお馴染みのグレゴリー・シンガー氏が率いるマンハッタン・シンフォニー・オーケストラも参加してテイラーさんへの追悼を込めた曲を披露する。また琴演奏の第一人者としてニューヨークで活躍している石樽雅代さんもこれに加わる予

定で、記念すべきコンサートに花を添える予定だ。

チケット問い合わせ：

ラマンツ綾 (917)902-2212 japan.choral.harmony@gmail.com

コンサート問い合わせ：

マイク・シロタ (201)264-5825 mike.s@mushroomwisdom.com